

デザインの基礎として構成要素を関連させてイメージを視覚化する

美術教育・千代田憲子

1. 授業の概要

デザイン基礎演習は、科目の区分 [デザイン] のスタートとして 1 年時前期に開講しており、後期のデザイン概論と 2 年時のデザイン 1 へと続く。造形の構成要素である色彩と形態・平面と立体・材質感などの関連を考えたイメージの視覚化を目指し、確かな観察力と柔軟な発想で多様な表現へ展開することが目的である。受講生は中等教育コース美術教育専攻 3 名の 1 年生に加えて複数免許取得の受講生が、数学教育専攻と初等教育コース小学校サブコース 1 年生 2 名、特別支援教育 3 年生 1 名と小学校サブコース 4 年生 1 名の計 7 名である。

2. 授業評価・授業研究の内容

第一課題：色彩構成は、モチーフの簡略化や構成を通して形態を考え、配色計画を経て多色による彩色を行う。画材や道具に未習熟な受講生の方が多いため、丁寧な順序で進めるが、時間外学習の差が進度や完成度に影響している。

第二課題：表現技法トレーニングでは、テクスチャ・モダンテクニック・タイポグラフィを用いて、共通する擬態語のイメージを視覚化する。今期は、B2 パネルへレイアウトすることで、内容のバランス等についても比較しながらの省察が深まった。

第三課題：映像メディア表現のデザインは、自身が撮影した複数の写真をモチーフとして、画像加工の効果にストーリーの展開を伴った不思議な世界の表現を試みる。携帯のアプリも活用して面白い表現に辿り着いたが、出力紙を多面体に貼り付け立体化する仕上げに関心が集まりすぎたことは反省点である。しかし、学生のモチベーションは高かった。

アンケート結果より抜粋(自由表記)

① 色彩構成について

- ・時間配分をミスしたかなと思った。
- ・こだわることは重要だけど、色のバランスなど、こだわりすぎると伝わらない。
- ・多様な色を混ぜると動きが出るし、色のイ

メージの幅が広がった。

- ・彩色が難しく、あまり綺麗に仕上がらなかった。画面がもっと大きければ・・
- ・構成や色彩の組みあわせに悩んだ。具体例がもっとほしかった。
- ・丁寧な手順で時間をかけてできたが、作業の汚さもあり、少し残念。
- ・難しかったが達成感もあり、デザインの省略について考えることができた。

② 表現技法トレーニングと B2 パネルへのレイアウトについて

- ・エンボスの技法を用いて、文字にあった加工と配色ができてうれしかった。
  - ・初めての技法で描きたいものが描けていない感覚があった。
  - ・ひとつの素材から多様な表情が生まれることを授業に生かしたい。
  - ・今後の制作に活かすことが楽しみだ。
  - ・事前のトレーニングで面白さに気づけた。
- レイアウトの僅かな違いの変化は面白い。
- ・感触を活かしたが、制作の時間配分が心残り。
  - ・自分と向き合い課題を見つけた。

③ 映像メディア表現と立体化について

- ・楽しかったが自分のサイズは小さすぎた。
- ・計画性が大事だと身をもって理解した。
- ・前半楽しく取り組めたが、多面体に貼ることに苦労した。
- ・多くの写真を組み合わせる制作する機会はなかったので意欲的に取り組めた。
- ・加工後の変化に面白みを感じたが、文字がない表現で 100%伝わったか分かりにくい。
- ・愛着が湧いて気に入っている。
- ・写真で伝えることの大変さを感じ、丁寧な作業に取り組む良いきっかけになった。

3. 「地域社会を核とした教育と研究のつながり」について

デザインの基礎では、地域社会を正面から捉えないが、「好きな場所」として地域の光にまなざしを向けることから、多方面に展開する可能性はある。